保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年3月　空欄の回答について：保護者様から「よくわからない」との回答で空欄になっています。

事業所名　CONNECT TOMO　　**保護者等数（児童数）12(14)　回収数 11　割合91%**

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	8	2	1	活発な児童には空間が狭く感じる。部屋が分かれているのはよい。	活動に支障のない広さの確保に配慮していきたいと考えています。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	8	2	1	スタッフ人数が少ない。	来年度、スタッフが専門機関で研修できる体制を整える予定です。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	6	4			建物の入り口や玄関・階段には段差があるためスタッフが介助いたします。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	10	1		児童の特性を理解できていない。	学校、委託公認心理士等と連携をとりながら、お子様の困りごとの理解へ努めてまいります。
	⑤	活動プログラム が固定化しないよう工夫されている	10	1		平日は内容が固定されているように感じる。	活動プログラムは、保護者様やお子様の意見に耳を傾けて内容を検討していきたいと考えております。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6	1		検討中です。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	2			今後も説明に努めてまいります。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	10	1		活動の様子だけでなく状態や児童のやり取り等を知りたい。	いつもご協力感謝しております。今後もお子さまにとってより良い療育を提供できるようスタッフ一同邁進して行く所存でございます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	9	2			日頃、貴重なお時間を頂き感謝しております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	7	3		開催希望の声があり来年度は開催を予定しております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1		スタッフに内容が伝わらず、理解されていないように感じる。	苦情があれば苦情担当が対応する体制があることを事業所便りに掲載予定でございます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	10	1			日頃より、ご協力いただき感謝しております。今後もより一層努力してまいります。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	10	1			ホームページやブログの公開、評価公表結果を行っていることを事業所便りで再度お知らせする予定でございます。
	⑭	個人情報に十分注意している	8	3		見学時、連絡帳様式は実際使用しているものでなく配慮するべきである。	取り扱い等、会議に取り上げ厳重な管理体制を再構築してまいります。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明 されている	8	2	1		現在あるマニュアルの簡易版が完成次第、保護者様に配布していく予定でございます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5	5			非難訓練は、消防署に取り組みを報告し年間2回実施しております。
満足	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	10	1		毎日、楽しみに通っています。	お子さまご本人の声や気持ちを大切にし、活動の内容に幅を持たせ、楽しみながらも将来に役立つ力が自然に身につく療育を行いたいと考えております。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
度	⑱	事業所の支援に満足している	10	1		今後もイベントや課題にあったプログラム等の内容に期待している。	今後もお子さまのニーズに答えながら課題や目標を見つけ楽しく身に着けられる活動や支援を行っていきたいと考えております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

＜回答数が11に満たない事由＞
③：未回答1、⑥：未回答2、⑯：未回答1

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月11日　　事業所名　CONNECT TOMO

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				
	②	職員の配置数は適切である	4	1			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5			建物の入り口や玄関・階段には段差があるためスタッフが介助する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5				開業し利用者が少ない為、業務が少なくPDCAサイクルに至っていない。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				今回のアンケート結果を業務改善につなげていく予定。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		第三者評価を取り入れていないので今後検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				個人研修を、各自受けている。今後は全体研修等行う予定。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				利用児童の状態によって急な変更があるので周知徹底していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				利用児童の気持ちと保護者様の意向をくみ取ったプログラムを今後も継続していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5				児童の利用の様子を振り返り課題を見つけ出し今後の方向性を見直している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			現在、利用児童が少なく取り組めていない。今後、取り組む予定をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	5				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				当日は、記録に徹し翌日に児童の利用の様子を振り返り課題を見つけ出し今後の方向性を見直している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				今後定期的もなモニタリングを行っていく予定。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5				ガイドラインの総則をスタッフに配布しており会議時に使用している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5			受け入れを行っていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			5		担当支援員を通しての情報共有できている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			5		移行者がいる場合いは情報の提供を行っていく予定である。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5				令和6年度、相楽児童発達支援センターひまわりでの研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2			検討中。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5				今後、圏域内の自立支援協議会に参加意向表明していく予定。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	1		
保	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3				子育てについてのアドバイスを随時行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		来年度開催する予定。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				
	㉟	個人情報に十分注意している	5				取り扱い等、会議に取り上げ管理している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5				検討中。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			マニュアルの簡易版を作成し配布し周知していく。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				年間2回、実施している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				現在対象者がいないので実施していない。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				現在対象者がいないので実施していない。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				現在ヒヤリハットの書式見直しを行っている。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。